

学校教育目標 『 人間性を磨き たくましく生きる生徒の育成 』 「自主 創造」



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!
Chance Change Charge Challenge 2018

由利本荘市立岩城中学校
No. 34
平成30年10月19日

後期生徒会組織

後期の生徒会役員、専門委員長、学級役員が決まりました。そして、第38期生徒会が始動します。どんな後期になるか期待したいと思います。

◆生徒会役員

会 長	2 A	三 浦	* * *
副 会 長	2 A	味 形	* * *
〃	2 A	大 友	* * *
書 記 長	2 A	金 森	* * *
議 長	2 A	大 友	* * *
副 議 長	2 A	佐々木	* * *
執行部員	1 A	松 坂	* * *
〃	1 A	山 崎	* * *
〃	1 A	山 崎	* * *

◆専門委員長

学 習	2 A	加 藤	* * *
生 活	2 A	阿 部	* * *
環 境	2 A	石 山	* * *
保 健 体 育	2 A	金	* * *
給 食	2 A	畠 山	* * *
函 書	2 A	横 山	* * *
放 送	2 A	今 野	* * *

◆学級役員

学級	委員長	副委員長	書 記
1 A	渡部 * *	今野 * * 今野 * *	柳田 * *
2 A	吉尾 * *	渡部 * * 渡邊 * * *	佐々木 * *
3 A	藤本 光	相田 * * 佐々木 * *	柴田 * *
3 B	佐々木 * *	堀井 * * 金森 *	田口 * *



P T A 参 観、懇 談

17日(水)、後期のP T A授業参観、学年学級懇談がありました。1年生は、認知症サポーター養成講座を親子で受講し、2年生は、国語の授業をし、3年生は、高校入試説明会を実施しました。

後期が始まり、時期的には勉強中心の生活になります。また、日が短く寒くなり、これまでと違う意味で心も揺れてくるが多くなると思います。何か心配なこと等がありましたら、気兼ねなく学校に連絡ください。

【1年生：認知症サポーター養成講座】



【2年生：国語の授業】





【3年生：高校入試説明会】



税についての作文

平成30年度中学生「税についての作文」に、3年生の相田*君が『私にとっての税』と題して作文を出品し、見事、本荘由利税務関係団体協議会長賞に入りました。10月20日(土)～21日(日)市民祭り(カダーレ)で展示されます。また、11月12日(月)に、本荘グランドホテルにおける表彰式で表彰されます。作文を紹介します。

本荘由利税務関係団体協議会長賞 3年 相田 *

「ねえ、何のために税金を払うの。」小学5年生のときに、ふと母に聞いた。そうすると母は、「税金で、みんなが支え合って生きているのよ。」と答えた。そのころの自分には、そんな実感なんてなかった。

小学6年生のころ、部活で大きなケガをしてしまった。ケガを治すために週に何回も病院に通った。そのとき、税金があることの大切さに気付かされた。納税という制度がなければ、すべての治療費やリハビリ代も自己負担となり、ものすごく大きな額を払うことになっていただろう。この経験から税金を払うことの大切さが身にしみた。

今、中学生である自分たちにとって一番身近な税といえば「消費税」だろう。日々、買い物をするときに、「消費税がもっと低かったらなあ。」とか思っている人が大勢いると思う。しかし、この消費税が低い、もしくは、無かったとしたら買い物をするという点では、楽になるかもしれない。でも、買い物以外の点で考えてみてはどうだろうか。まず小・中学生だった場合、一年で小学生は約九十万、中学生は百万以上を自己負担することになる。これであって、いくら義務教育だからといっても払えない人が出てくる。それでは義務教育ではなくなってしまう。

また、高齢化が進んでいる今、高齢者を支えているのも税金である。高齢者一人に対して2000年は、3.6人だったのに対して、2025年は1.8人、2050年は、1.2人と、だんだん働き手の負担が大きくなっています。なので、税金を使うにしても、払っている人のことを考えて使うべきだと思う。

私たちが普段歩いている道路や安全な通行のための信号も税金でつくっていて、道路や信号を修理・修復するのも税金が使われている。そのことから私たちは、税金によって支えられていると感じる。また、私たちが毎日通っている学校や机、椅子、教科書も税金によってまかなわれている。

こうして、毎日、安心して安全な日々を送ることができているのも税金があるからこそだと感じた。

改めて、税金があることの大切さや税金の仕組みを確認することができた。私たちが、大人になるにつれて、払う税金も増えると思うが、しっかりと税金を払って、その税金を地震や大雨などの自然災害などの被害を受けた地域の一日も早い完全復興に向けて使ってほしいと思う。

本荘由利読書感想文コンクール

推薦 2年 金 * *

『伝えられるうちに』
(書名:「つめたいよるに」)

推薦 1年 松坂 *

『毘陀多から学んだこと』
(書名:「くもの糸」)

入選 3年 佐々木 * *

『十五歳としての結論』
(書名:「どうすれば幸せになれるか
科学的に考えてみた」)